

薬剤部にはこんな先輩がいます

《2011年度版》



● M・Eさん(昭和薬科大学卒業)
通称:まーしー
2010年に入社し、服薬指導件数アップに貢献。
すっかり薬剤部のムードメーカーです!

【私がこの病院を選んだ理由】

医薬分業が定着してきている昨今ですが、あえて院外処方にはしてないところ…
患者さんが入退院を繰り返す場合でもトータルでフォローすることができます。
また個々の患者さんに質の高い医療を提供するためには病院の規模はある程度コンパクトでなければと考えていますが、当院の60床というのは最適な病床数であると考えたからです。

【だからこの仕事が好き】

外来?病室?OP室?
どの現場を考えても『薬』なくしては成り立ちません。薬は病院の「潤滑油」と言えるかもしれません。つまり、そんな潤滑油を専門に扱う薬剤師は実は***影の支配者***なのです。フフフふ…
薬剤に対する専門的な知識、しかもタイムリーな情報を医師、看護師をはじめ患者様に提供し、治療に対する選択肢を増やしてあげることができる醍醐味は病院薬剤師ならでは!ではないでしょうか。



【教育制度は充実】

毎月、薬剤部ではカンファレンスを行い、常に部署内のレベルアップを図っています。また毎月、全職員対象で院内研修会も行われ、例えば外部講師を招いて新しい知識の習得に努めるなど日頃の就学も怠りません。



【先輩からのメッセージ】

医療は自分の専門性を生かして患者様に何を提供できるかを考えていけば、自ずとやるべきことは見えてくるはず。年齢がup↑するごとに柔軟な発想が難しくなっているので(笑)、皆さんの柔軟性に富んだフレッシュな発想に期待してますv(^ ^)v

【私の職場ここが自慢】

1階の外来待合室に隣接するガラス張りのカフェはとても素敵で私はよくデートコースに利用しています♡…というのは冗談ですが…病院にいることをひと時忘れさせてくれる空間となっています。また数多くの風景写真も展示してあり差し詰めギャラリーといったところ…
倉敷市建築文化賞『優秀賞』をいただいただけのことはある、病院らしからぬ病院なのです(^ ^)
また毎年秋には文化祭を開催し職員の意外な一面を垣間見る素敵な作品を待合室に展示しています。仕事だけのお付き合いではなかなかコミュニケーションが図れないもの…素顔を知っているスタッフ~同士だからこそその「あ・うんの呼吸」が、実は患者さんに満足のいく医療を提供できる<裏ワザ>でもあるのです!